

ーリーが
か
で書かれているの。

使者と、

が。
みえないぞ。



3



ード。

だい かん ひろ
第4巻を広げてみるわね。

ものがたりは、
みぎ ひだり すす
右から左へと進んでいくのよ。



に ほん
日本からの
ふね
船がついたぞ！

いざ、
とう くに
唐の国へ・・・

巻第二 あらすじ

あめ かげ つよ
雨や風が強くなった夜ふけ、建物に鬼があらわれた。この鬼は、
かつて いっしょに 唐にわたり、日本に帰ることができなかった
あべのなかつる 阿倍仲麻呂の亡霊。話をしたくたずねてきたのだ。吉備の
はなし おに ようこ はなし
話に鬼は喜び、お礼に力をかしてくれろという。いっぽう 皇帝
の宮殿では、どうやって吉備を困らせようか相談していた。

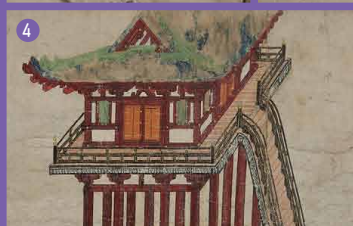


2



1

ささ、吉備どの、
こちらへ。



4

き び
こうして吉備は、
たか だてもの なか
高い建物の中にとじこめられて
しまったのだった。



3

巻第一 あらすじ

に ほん
日本から、使者として唐の国（中国）へとやってきた吉備真
備（吉備大臣）。唐の人々は、吉備大臣の能力をためすため、
彼を高い建物にとじこめて、出られないようにしてしまう。
あやうし、吉備大臣！



おうむ ず
▲ 鸚鵡図
伊藤若冲筆 江戸時代 18世紀後半

とり こま ひょうげん
鳥の細かい表現は、
じゃくちゆう
さすが若冲さんね～。



はね
羽、ふわふわだほー！



し き かしやうずひやうぶ ぶぶん
▲ 四季花鳥図屏風(部分)
狩野永納筆 江戸時代 17世紀後半



りゅうこ ずひやうぶ ぶぶん
▲ 龍虎図屏風(部分)
長谷川等伯筆 江戸時代 慶長11年(1606)